

読売新聞 24.2.20

「女性宮家」創設、29日から意見聴取

政府は皇族女子が結婚後も皇室にとどまる「女性宮家」創設に関し、今月29日から有識者への意見聴取を開始し、本格的な検討に入る。

藤村官房長官が20日の記者会見で正式発表した。国民の理解を得て進めるため、聴取は報道各社に原則として公開する。政府は半年程度聴取を続けた後、国民の意見も募集した上で今秋の臨時国会にも皇室典範改正案を提出したい考えだ。

藤村氏は記者会見で、有識者の意見聴取について「密室でこそこそやるのではなく、国民的な意見をいただき、幅広く議論していく」と述べた。

29日は今谷明帝京大特任教授とジャーナリストの田原総一郎氏、3月中下旬に予定する2回目は山内昌之東大教授と大石眞京大教授を首相官邸に招く。園部逸夫内閣官房参与（元最高裁判事）や官房副長官らが1人当たり約40分間意見を聞くことにしている。その後も月1、2回ペースで、計十数人の意見を聞く予定だ。